

## 21-5 ウエペケレ「モシリパサリヒタ ソアタイタク クス アラパアン」解説

語り手：木村きみ  
聞き手・解説：萱野茂

萱野：Mosirpasarihi ta soataytak kusu arpa=an〔斜里の村へ借金を請求しに私は行った〕という uepeker〔散文説話〕だな。

木村：ふふふ（笑）うん、そう。

萱野：これは行く途中にハラヤミ〔腹痛〕の真似をして、それ（は）熊が待ち伏せしているらしいので、わざとその熊の見える場所でハラヤミ〔腹痛〕のふりをして、そして腐った木に、あの……魂を入れて、

木村：うんそう。熊にして、

萱野：熊にして、そしてその熊、待ち伏せしている熊に、喧嘩させるわけだな。

木村：（笑いながら）そうそうそうそう。

萱野：そしてその自分では傷もつかずに、あの……

木村：自分では手かけないで、

萱野：手かけないで、ちゃんとその熊を征伐したと。

そして、夢に見させられて、えーまあ、それからその soataytak〔借金取りに行く〕というのは、Mosirpasarihi というのは、シャリ〔斜里〕の方へだな。

木村：うん、そう。

萱野：シャリ〔斜里〕、今の言葉で言うシャリの方だっちゅう話、聞いたことあ

るんだが、そのシャリへ行って、昔貸してあった、父が貸してあったものを寄越せと言って、取って、帰ってきたと、そういう、短く言えばそういう uepeker [散文説話] でしたね。

木村：うん、そうそうそう。